

1. 略歴

1990年3月	東京大学大学院社会学研究科社会学修士課程修了
1995年	東京大学大学院社会学研究科社会学博士課程単位取得退学
1995年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助手
1995年	専修大学文学部社会学科非常勤講師
1996年	富山大学人文学部非常勤講師
1998年	徳島大学総合科学部非常勤講師
1999年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座講師
1999年	信州大学人文学部人間情報学科非常勤講師
2000年	筑波大学第一学群社会学類非常勤講師
2001年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座助教授
2002年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助教授
2005年	名古屋大学大学院国際多元文化専攻ジェンダー論講座非常勤講師
2006年	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専門分野准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

社会問題の社会学
歴史社会学

b 研究課題

セクシュアリティの歴史社会学
少子化社会論
人口減少社会論
社会問題の構築主義アプローチ

c 主要業績

(1) 著書

- 共著、赤川学、「誰がどんな少子化対策を支持するのか」、武川正吾ほか編『格差社会の福祉と意識』57-76頁、東京大学出版会、2012.4
- 共著、赤川学、「人口減少時代の地域づくり」、盛山和夫他編『公共社会学2 少子高齢化社会の公共性』235-252頁、東京大学出版会、2012.8
- 単著、赤川学、『社会問題の社会学』、弘文堂、2012.12
- 編著、赤川学、「社会問題のサイクルと経路依存性」、中河伸俊・赤川学編『方法としての構築主義』52-72頁、勁草書房、2013.9
- 共著、赤川学「ことばは社会と文化をどのように作り変えるのか」、唐沢かおり・林徹編『人文知1:心と言葉の迷宮』139-162頁、東京大学出版会、2014.7.

(2) 論文

- 赤川学、「『造化機論』の千葉繁」、『東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』、第26号、p.77-92、2013.3
- 赤川学、「千葉繁の半生」、『東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』、第27号、p.97-111、2014.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 熊本大学文学部非常勤講師、2008.12
- 明治大学情報コミュニケーション学部、「情報コミュニケーション概論」非常勤講師、2011-2012
- 筑波大学大学院非常勤講師、2013.7~9
- 法政大学大学院社会学研究科非常勤講師、2013.12

(2) 学会

- 国内、日本社会学理論学会、理事（事務局長）、2011.4~2012.4

国内、日本社会学会、編集委員会専門委員、2009～2011